

世界人形行脚記 (四)

—(世界教育大會より歸りて)—

フレイベル館社長 高 市 次 郎

▽大西洋横断△

米國に於ける玩具のお話は、本誌前號ぐらゐで止めておきますが、何しろ米國へ着いたのが七月の二十日で、それから歐洲に向つて出發したのは八月の二十日、丁度まる一箇月といふもの、備に米國の暑熱を経験いたしました。

汽車の中の温度は百十五度、それでも、同國の禮儀として、上着をとつて涼をいれることはできないものですから汗だく／＼の、それを實に文字通りの流汗淋漓で閉口いたしました。が、幸にいつも米國滞在中は、あのおいしいおいしいメロンと清冽な氷水とが容易に得られましたので、それで漸く生きた心地がありました。汽車中でも、コックをひねると、その冷めたい氷水が出てくるし、ホテルでもアイソーター(氷水)と呼ぶと、直に給仕が持つて來てく

れます。Ice-Waterと、初めは克明に發音したので、サツバリ意味が通じないといふ滑稽なこともありました。

かくて、八月の二十日に倫敦に向つて紐育を出發いたしました。大西洋を越へて一路英國へ、船は世界最大の優秀客船アキタニア號の四萬二千噸、スマートでしかも堂々たる巨體が大西洋の波を蹴つて進む心地は、またなく壯快であります。

大會出席の皆さんに分れて歐洲へ向ふ一行は、大島團長と東京の日本橋高等女學校の若月校長、それから、長崎縣の伊岐高等女學校の西田校長、及び私の四人づれで、アキタニア號の甲板上を見渡しても何所を捜しても、日本人といふのは實に私達一行の四人だけ。どこを見ても外國人ばかりの此の大きな船で航海したのは初めてでしたから、聊か心細い氣持ちもいたしました。幸にテーブルは一行

が一緒に占領しますから、幾分か助かつてゐました。乗船の晩や、また下船の前夜のラスト・ディナーの時は、船客何れも盛装をこらして、色とりどりの美しいテロブを投げ合つたり、妙な帽子を冠つておどけたみえや、一種奇妙な音を奏でて騒ぎ廻りはり、ダンスも楽しく始まりそれはく／＼賑かでした。

海上波靜かにして聊かのなやみもなく、航海六日にして英國のサブザンブトン港につきました。こゝは第十一世紀に十字軍が出發した所であり、また第十五世紀にはエドワード三世のフランス遠征軍も此所から出發したといふ舊い港であります。一行は先をいそぐものですから、見物の暇もなく直ちに汽車で、北へ、倫敦に向つて出發、その夜のうちに到着し宿泊いたしました。

▽ロンドンの感想△

米國から英京ロンドンに着いて、先づ第一に眼についたのは建築でありました。かの何十階となく高く、天を摩して聳ゑ建つ所謂高層建築を眺めてゐた眼にうつるのは、古典的な感じの、ドツシリと落ちついた所謂ゴシック風の建

築美であります。米國の建物が高さの割合よりも遙かに幅が狭く、外壁が割合に平滑であるのと比較しますと、英國の建物は横に廣く、而かもいろ／＼の彫刻が澤山ついてゐます。そして家根には必ず三つ四つの煙突がついてゐます。ストーブには石炭を焚くので、その煙が例の名物の霧とまざつて暗くみせてゐます。然し一步郊外に出ますとそれは明るく美しい繪を見るやうな心地がいたします。

サブザンブトンからロンドンへの汽車中、車窓に展開された郊外の美しい眺めはまことに一幅の畫圖と言へませう。鮮かな綠色の芝生の小丘が起伏して、そこに遊ぶ羊の群。時に水車があり、その羽根が悠揚として中空に大圈を描いてゐます。

杜を越して水車の羽根の緩かに

羊群やみどりの丘のかさなりて

ローンは牧場であつて、羊の群、赤い家根の家、森、さては、某のお寺の尖塔寺が點綴されて車窓に訪れて遙かに東洋からの長旅の客を慰めてくれました。米國にも美しい芝生を見ましたが、それは住宅地域だけであつて、英國及び中歐諸國では到る所に美しい天然の芝生を見かけました。

▽英國の玩具△

ロンドンも米國の如く、頗る大きい玩具店があり、またデパートメントストアにも澤山の玩具を並べてあります。

一體、歐米では男のデパート、女のデパートと、そのストアが別になつてゐるので、玩具は女のデパートに屬してゐるので、私は主として女のデパートを訪ねました。そして其の觀た所も少くないが、英國でできる人形といふのはない。一番よいと思つたのは、毛で作つた動物で假令ば狎の如き本當の毛を以てし、頗るみごとに出來てゐました。

英國製の人形はないが、人形の髪の毛だけは英國が本場で、之をモヘヤー Mohair と呼んでゐます。即ちあんどら山羊の毛で、女の髻、髻の入れ毛等と共に獨逸あたりへ輸出し、嘗て我が森村でも輸入したものであります。

それから玩具のうちでは、積木又は色板の如き性能を持つた木製のもので、小さいものでは一個の幅が五耗程の扁平な板で、正方形、直三角計、或は圓、楔形等になつてゐて、何れの角稜も圓味に磨きあげた色とりどりの——緑、紫、赤、黄、藍等の多數を以て一箱に並べ納めたものがあ

ります。此の板が一種程のもの或は三種ぐらゐのものがあつて、何れも角稜が圓味を帯びて、而かも美しく磨かれてゐます。此の板を種々に組み合せて圖案的な平面の模様を作り得られるし、また中には之れを嵌め込み、組み込んで立體的な鳥、獸、人物、器具等の形態に模し得られるものであります。初め英國製とのみ思ひましたが、獨逸かチエツコスラバキア製と後には思はれました。之等を各種多數に買ひ求めましたが、後に獨逸へ行つて、始めて英國で求めた夫れ等がチエツコの製品である事が的確に分りました。それから、キングダーブツクの原稿を爾後毎編に描いて貰ふ英國童畫家の最も優秀の人物を物色することも、英國に於ける私の重大な使命でありました。そこで、各種の繪本を漁り、繪本によつて出版所を訪ね、目ざす畫家の住所を尋ねました。それは爾來キングダーブツクに毎編揮毫される Helen Jacobs さんでしたが、折から暑休でロンドンに不在なので、出版所に懇々依頼して出發したのでした。

英國はロンドンを訪れただけで、ドヴァ海峽を歐大陸に向つて越へたのですが、ロンドンにある古い寺院、博物館、公園、天文臺、宮殿等は急しい旅ながら觀て廻りました